



# 海老沼小だより

～ かしこく やさしく たくましく生き抜く子  
笑顔と歌声あふれる学校 ～

平成29年12月22日  
2学期終了号  
さいたま市立海老沼小学校

## 海老沼小の今年を漢字一文字で表すなら「輝」そして十大ニュースは・・・

校長 森 裕子

今年も残すところ、一週間ちょっと、そして今日は2学期終了の日です。2学期80日間は、一番長い学期ではありますが、大きな行事がたくさんあって、毎日が充実しているせいか、あっという間に終わる感じがします。さて巷（ちまた）では、一年が終わる時はどんな年だったかを振り返り、漢字一文字で表したり、“十大ニュース”と銘打ったりして報道されています。その年を漢字一文字で表すという恒例の行事は、日本漢字能力検定協会が全国から一般に広く募集し、一番多かった漢字を「今年の漢字」として12月に京都の清水寺の境内（中学校の修学旅行で必ず行きますね）で、大きく筆で書かれることにより発表されます。今年は「北」でした。あまりいいイメージではないので、ちょっと残念な気がしました。私もかつて国語の教員だった時、真似をして授業やクラスでやっていました。「マイナスのイメージが強いのはNG」と初めに念を押したものです。今年、6年生が各自考えた漢字を筆で書き、職員室脇の掲示板に貼っています。それぞれなかなかいい字を書いています。また、その漢字を選んだコメントも付いていて興味深く、保護者や来校者の方々も足を止めて見入っています。さて私も考えてみました。今年は海老沼小に来て、毎日が楽しくて感動いっぱいうれしく幸せな年でしたが、「楽」も「感」も「幸」も、まだまだ足りない！と思い「輝」にしました。これは、海老沼の子ども達の笑顔だったり活動する姿だったり、そして自分の満たされた気持ちが「きらきらしている！」と感じるからです。世の中には不穏な動きもあり、「北」＝「不安な感じ」がするのですが、わが海老沼小の日々は「輝」の一年でした。

では、海老沼小の十大ニュースは何でしょう。私の独断で、次のとおり発表します。

- ①原田校長先生が退職され、新しく私が校長として海老沼小学校に着任した。
- ②入学式でたくさんの方々が来賓として参列してくださった。
- ③1年生を迎える会で、上級生が心のこもった企画・運営を行い、1年生も入学してわずか1週間なのにすっかり校歌を覚えていて、しっかり歌っていた！
- ④音楽朝会や児童朝会のクオリティが高く、いつも子ども達が一生懸命で有意義な集会となった。
- ⑤毎週、異学年で交流する縦割りの活動が楽しく行われ、高学年は低学年の面倒をよくみていた。
- ⑥1学期の終業式に、子ども達へのサプライズとして、教職員全員で「ともだちはいいもんだ」を合唱し、とてもうまくできて子ども達に喜んでもらえた。
- ⑦NHK合唱コンクールに引率した時、合唱部が本番でさらにさらにすばらしい歌声を披露した。
- ⑧運動会で、子ども達も先生方も本当に一生懸命に練習や準備に取り組んで、当日は一人ひとりが輝いた、いい運動会となった。（個人的に、恥をしのいで流行のパフォーマンスをやらせてもらったことも楽しかった！）
- ⑨駅伝の練習に高学年が励み、全校で応援し、男女とも5位入賞という好成績を収めた。
- ⑩どの学年の校外学習に参加しても、みんなマナーをきちんと守ったり、自分の仕事をしっかり果たしたりしながら、仲間との絆を深め、いい思い出をたくさん作っていった。

10では、足りなくなりました。どうしても最後にこれを入れさせてください。

- ◎海老沼小の子ども達、先生達が毎日、授業や行事やいろんな活動に一生懸命力を尽くし、海老沼小全員が元気に楽しく過ごして2学期と2017年という年を過ごすことができました。

“キラキラ輝く2017年”が過ぎていきます。17日間の冬休みをご家族で楽しくお過ごしください。そしてまた、来年もいい年になるよう、保護者、地域の皆様の引き続きのお力添えをお願い申し上げます。本当にお世話になりました。よいお年をお迎えください。